

～第33回 敬老標語 最優秀賞決定～

余市町長賞

厳しいが 家族を笑わす 名人だ

大川小学校 6年 横溝奈々花 さん

うれしいな 祖父母のやさしい 「ひさしぶり」

西中学校 2年 鈴木拓海 さん



毎年9月の「敬老の日」にちなみ、多年にわたり社会に
尽くしてきたお年寄りへの感謝の気持ちから実施して
まいりました敬老標語の募集も今年で33回目を迎えました。
今回も、小・中学生からたくさんの方の応募があり、審査の
結果、入賞作品が決定しました。

目次

第33回 敬老標語入賞作品 P.2

第50回 敬老・感謝のハガキを贈る事業

P.3 あずましい余市カフェ／暮らしの講座
スマホ教室／ふまねっと運動教室

P.4 福祉講演会

P.5 おたがいさまのまち通信

P.6・7 赤い羽根共同募金／令和9年度助成事業

P.8 ふれあいフォトコンテスト作品募集
インフォメーション

「無料相談会」のご案内

● あんしん法律相談(要予約) 13:30～14:30

10月5日(月)、11月9日(月)、12月7日(月)

ご予約の方は余市町社会福祉協議会までお電話ください

発行 社会福祉法人余市町社会福祉協議会

〒046-0011 北海道余市郡余市町入舟町400番地

☎ (0135) 22-3156 FAX (0135) 23-3664

<http://www.yoichi-shakyo.or.jp/>

この広報誌は、社協会費・共同募金助成金・広告料の一部を活用しています。

第33回

敬老標語入賞作品決定!!

余市町教育長賞

長生きの ひけつの笑顔 末永く
お年より 元気の証は その笑顔

大川小学校6年 高見 侑 雅さん

旭中学校3年 竹生 汐羅さん

余市町校長会会長賞

おばあちゃん 後ろ姿が かっこいい
受けたやさしさ 今度は私たちが つないでいく

登小学校4年 大倉玄太郎さん

旭中学校1年 内藤 類 統さん

余市町老人クラブ
連合会会長賞

じじとばば おいしいごはん せかいいち
ほんわりと 空気を和ます 祖母の笑み

沢町小学校4年 岩本みつきさん

西中学校3年 亀谷 縁さん

余市町地域子ども会
育成連絡協議会会長賞

あたたかい そばのえがおは せかいいち

沢町小学校5年 稲沢美桜愛さん

余市町民生委員
協議会会長賞

いつまでも 健康でいてね 二人とも

沢町小学校6年 小倉 由江さん

北海道新聞社
余市支局長賞

いつまでも 畑のおしごと 一緒にしよう

黒川小学校4年 川合 泰生さん

余市町社会福祉
協議会会長賞

この味を いつか私も つくりたい

黒川小学校5年 青木陽彩音さん

第33回 敬老標語審査委員長・講評



余市町校長会会長
半田健一氏
(余市町立黒川小学校校長)

作品を通して、高齢者への敬愛や感謝の気持ちを深め、福祉のまちづくりを推進することを目的に実施されてまいりました敬老標語の取組ました関係者の皆様には心より敬意と感謝を申し上げます。

今年も多くの子童生徒のみなさんから応募がありました。たいへん嬉しく思っています。一つの標語作品として完成するまでには、「自分の気持ちにぴったりの言葉選びはできたのにリズム感が出ない」「リズム感はあるけれど、自分の伝えたいこととはどこか違う」などと様々に思考を巡らせたことと思います。簡単なことではありません。しかし、そのように祖父母の方々の姿を思い浮かべながら、自分の気持ちと向き合い、言葉を紡いでいく時間が敬愛や感謝の気持ちをもより深めてくれたのではないのでしょうか。応募された作品の全体的な特徴としては、「日常のディテール」が丁寧に拾い上げられ、子どもたちのピュアな視線で描かれていたことがあげられます。「温かい微笑み」「一緒に食べる、ご飯の味」「今もたたくましく働く姿」など、審査をしていて、それぞれの作品の背景にある温かい家族の風景が浮かびました。受賞作は、特に素晴らしい言葉選びがされ、「共に生きる、共に歩む」という前向きな姿勢が感じられる作品もありました。審査委員一同異存なく選出させていただきました。

標語は、言葉を通じて人の心を動かすことができます。今回選ばれた作品が、多くの人の心に届き、誰もが互いを思いやり、笑顔で暮らせる社会づくりの一助となることを切に願っております。受賞者のみなさん、誠におめでとうございました。また、素晴らしい作品を届けてくださったすべての児童生徒のみなさんに、改めて感謝申し上げます。

第50回 敬老・感謝のハガキを贈る事業

四寿（喜寿・傘寿・米寿・卒寿）を迎えられる方（960名）へ長寿をお祝いする感謝のハガキが届けられました

今年も「敬老・感謝のハガキを贈る事業」が町内の小中学校7校の児童・生徒の協力を得て実施されました。毎年9月の「敬老の日」にちなみ、余市町地域子ども会育成連絡協議会が各学校へ依頼し取り組んでおり、今年で50回目の節目を迎えました。

【主催】余市町地域子ども会育成連絡協議会
事務局：余市町青少年対策室（中央公民館内）

【共催】余市町社会福祉協議会



この事業は、多くの皆様から寄せられた赤い羽根共同募金からの助成を受けて実施しています。

あずましい余市カフェ

“あずましい余市カフェ(認知症カフェ)”は認知症の人とその介護するご家族、地域住民、医療・介護の専門職など、参加者を限定せず、自由に集い、交流・情報交換することを目的に開催しています。

今回は、余市紅志高等学校ボランティア局の皆さんによる企画・運営で、テーマは「高校生とつくる、世界にひとつだけのフォトフレーム」です。みなさんで楽しいひと時を過ごしましょう。専門職への相談も可能です。



6月25日 あずましい余市カフェの様子

日 時：11月11日(水) 13:00～15:00 (入退場自由)

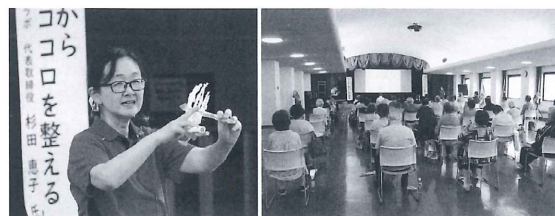
場 所：余市テラス(黒川町10-3-27)

参加費：無料 申込期限：11月2日(月)

令和8年度

暮らしの講座

7月11日、中央公民館にて「暮らしの講座」を開催しました。今年度は株式会社シーラボ代表取締役杉田恵子氏を講師としてお迎えしました。町民48名が参加され、健やかな足でいるための習慣や、正しい靴の選び方などを学びました。



7月11日 暮らしの講座の様子

スマホ教室のご案内 余市町生活支援体制整備事業

携帯電話会社のご協力により、初心者の方向けのスマホ教室を開催します。スマホの基本操作や、メッセージアプリ(LINE)の使い方を中心とした体験型の内容です。貸出用スマホを使って講座を行いますので、まだスマホを持っていない方も受講できます。どこの携帯電話会社をご利用の方でもお申込みいただけますので、是非ご参加ください。

日時：10月14日(水)13:00～15:00 / 場所：余市町中央公民館3階 301会議室

参加費：無料 / 講師：ソフトバンク(株) / 定員：20名(先着順)

10月から
後期スタート!

「ふまねっと運動教室」に

参加してみませんか?

「ふまねっと運動教室」とは…

50センチ四方のマス目でできた大きな“あみ”をステップや手拍子などを楽しみながら、踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動で、体の機能向上が目的ではなく、教室を通じて地域との「交流」を重視した介護予防教室です。現在、町内4カ所で開催中です。

お申し込みは、随時受け付けておりますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。

※対象者：余市町民の方(年齢制限なし)

※利用料：1回100円(最初の参加時にまとめて徴収します)

※開催場所：中央公民館・大浜中老人寿の家 月2回 月曜日(初回10月19日)

福祉センター本館・入舟分館 月2回 木曜日(初回10月15日)

※開催時間：午後1時30分～午後3時



会場/福祉センター入舟分館

申込問合せ先 余市町社会福祉協議会 (22-3156)

令和8年度 余市社協主催

参加
無料

福祉講演会

毎年、日本各地で自然災害が発生しています。誰もが「もし自分の町で起きたら…」そんな不安を感じたことがあるのではないのでしょうか？

今年の福祉講演会では、事前の「備え」で終わらない、住み慣れた町でのその後の暮らしまでを見据えた「防災」について、一緒に考えてみませんか？ぜひ、お気軽にご参加ください。



申込締切
10月5日(月)

日時 令和8年10月10日(土) / 13時30分～

会場 余市町中央公民館 (大川町4丁目143)

講師 一般社団法人 Wellbe Design 理事長 ^{しの はらしん じ} 篠原辰二氏

テーマ つながりは備え、地域で取り組む災害福祉

お申込・お問合せはコチラ

社会福祉法人余市町社会福祉協議会 (入舟町400)

☎(0135) 22-3156 [平日9:00～17:00]

LINEでの
お申込みは
コチラから



**会員
募集**

健康で働く意欲のある
余市町在住で60歳以上の元気な方
募集してます。

空いた時間で短期の就業。あなたのライフスタイルに応じた働き方ができます。

高齢者の知識・経験を活かして働ける

公益社団法人 **余市町シルバー人材センター**



就業のご相談はお気軽にお問合せ下さい

☎22-7641 FAX.22-7642

余市町黒川町5丁目22番地
<http://www.yoichi-sc.or.jp/>

余市町生活支援体制整備事業

おたがいさまのまち 通信

余市町出身のケアマネジャー工藤倫子さんは、小樽市にて「ちょっとおせっかいがまちを救う講座」という、とてもユニークな活動を行っています。ご近所同士の声かけによって、孤立防止や困りごとの解決につながっていくことを目指すものです。支え合いの地域づくりを進める“生活支援体制整備事業”の一環として、工藤さんにお話を伺いました。

Q このような活動を始められたきっかけを教えてください。

A きっかけは、ケアマネ同士の「介護保険は“点”であるが、困り事は“点ではなく線”である」「昔は人のつながりがもっとあった」「“おせっかい講座”なんていいんじゃない？」という会話からです。介護保険などの公的制度の隙間を、近所の人、商店の人など身近な人たちとのつながりで補うことが出来ればと活動しています。

Q 講座を開催し、どのような反応がありましたか？

A 地域で働いている方から、変化が気になる高齢者について、「おせっかいかもしれないけれど」と情報が寄せられたことがありました。その後、コンタクトをとれた際に高齢者ご本人からとても感謝され、今後困った時の安心感や新たなつながりが生まれました。

Q 「孤立はすぐには起きない」と話されていましたが、「高齢者の孤立」という問題について、どのようなことを感じていらっしゃいますか？

A ケアマネジャーとして月に一度訪問する際に「もう帰っちゃうの？」と言われることがよくあります。「高齢者の孤立」はとても深いところから始まっています。周囲が「さみしい」や「孤独」にいかにか気付けてあげられるかということ、そして周囲が関わりを持てるようにすることが大切です。

今回、工藤さんに講師をお願いし、「ちょっとおせっかいがまちを救う講座」を余市町でも開催することとなりました。日頃の挨拶や少しの気づきが、誰かの助けにつながることがあります。明日からの暮らしが少し豊かになる身近なヒントを一緒に教わりませんか。

みんなで育てる“おたがいさま”のまち2026
～ちょっとおせっかいがまちを救う～

講師 **工藤 倫子 氏** (合同会社 BuhiSiba 代表)

日時 **11月28日(土) 13:30～**

場所 **余市町中央公民館**

おせっかいで
みんなを笑顔に
しませんか？

年中
無休 24時間
営業

お客様の想いに寄り添い、
まごころを込めた葬儀をお届けします。

24時間365日ご利用可能な安置施設を完備

(有) 余市葬祭社

中道造花店

余市町黒川町12丁目83-4(本社)

☎22-3254 FAX 23-4241



もしものとき安心と信頼の全国ネット ●経済産業大臣認可 全国葬祭業協同組合連合会
if共済会取扱加盟店 ●国土交通大臣認可 全国霊柩自動車協会 加盟店

葬儀専用式場

中道すすらんホール

住宅型御安置施設

中道すすらんホール 別館 和 なごみ

余市町黒川町13丁目10-1 ☎21-4499

家族葬・法要式場

中道さくらホール大川

余市町大川町3丁目79 ☎48-9494



北海道共同募金会の不正経理について

北海道共同募金会（以下「道共募」と記載します）事務局長に脱税の疑いがあるとして、札幌国税局が、令和8年2月に道共募へ強制調査に入りました。

これを受け、道共募が内部調査を行ったところ、1億8千万円の使途不明金があることが明らかとなり、道共募では第三者委員会を設置して全容解明に努めていくと各市町村共同募金委員会に対し説明を行いました。

まだ、真相は究明されていませんが、今回の使途不明金は、元事務局長による横領とみられており、道民の善意を踏みにじる許しがたい行為で、私たち共同募金に携わるものとして強い憤りを感じざるを得ません。

余市町共同募金委員会としても、正副会長会議、役員・評議員合同協議会を開催し、今年度の募金活動の取り組みについてどうすべきかを協議してきました。

結果として、余市町共同募金委員会としては、助成を必要としている団体や、障害をお持ちの方々、さらには震災におけるボランティアセンターなどの運営費といった、支援を必要としている方々に手を差し伸べるという観点から、例年通りの募金活動を展開することを決定したところであり、町民の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

余市町共同募金委員会では、道共募に対し、今回の事態の全容解明、今後の再発防止策の策定、使途不明金の弁済、責任の所在などについて強く申し入れを行ってまいります。

令和7年度（第79回）共同募金運動結果報告

令和7年度も余市町内の皆さまからのあたたかいご支援の気持ちとたくさんの募金が寄せられました。

ご協力ありがとうございました

令和7年度 共同募金総額

2,837,918円

赤い羽根共同募金 1,710,124円

歳末たすけあい募金 1,127,794円

令和7年度赤い羽根共同募金結果

募金区分	実績額
① 戸別募金	1,505,570円
② 法人募金	24,000円
③ 街頭募金	70,126円
④ 学校募金	48,182円
⑤ その他	62,246円
合 計	1,710,124円



皆さまから寄せられた赤い羽根共同募金の一部は「余市町社会福祉協議会」を通じ、令和8年度は次の団体へ助成を行いました。

助成団体名	助成額
・余市町地域子ども会育成連絡協議会	30,000円
・余市町赤十字奉仕団	30,000円
・リタロードを守る会	30,000円
合 計	90,000円

令和7年度 歳末たすけあい募金結果【運動期間】12月1日▶12月31日

集められた募金は、一旦「北海道共同募金会」で集約され、翌年度、計画に基づき必要な金額を申請の上、余市町共同募金委員会へ助成されます。

の
助
成
7
年
度
内
訳

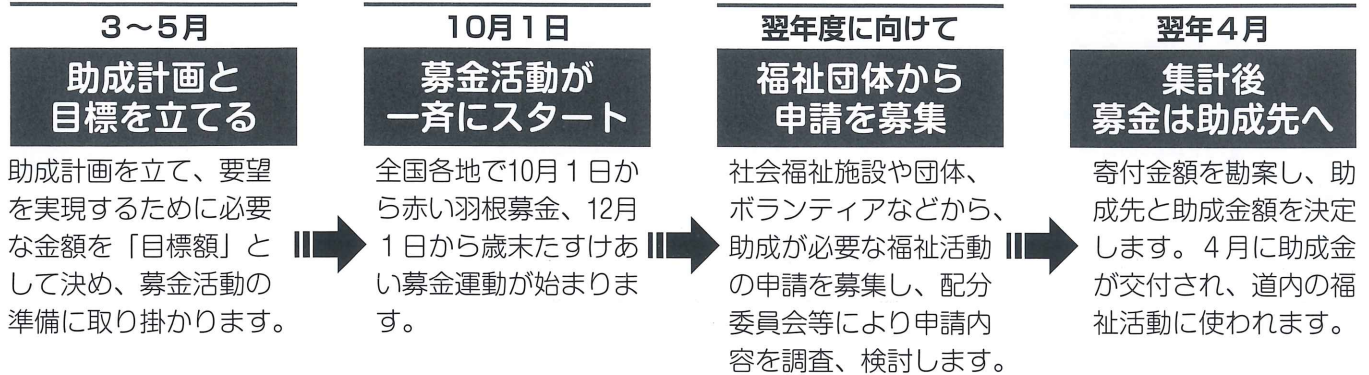
・歳末見舞金の贈呈	565,000円
・地域福祉サービス基盤整備事業	29,040円
・障害児養護世帯就学祝贈呈事業	20,000円
・社会福祉団体、NPO法人などへの支援	530,000円
・歳末たすけあい運動にかかる経費	84,447円
合 計	1,228,487円





赤い羽根共同募金にご協力お願いいたします

赤い羽根共同募金は「計画募金」です。



令和9年度

地域福祉活動助成事業のご案内



助成団体の募集を開始します

よいち社協では、町民の皆さまからお預かりした社協会費や寄付金、共同募金からの助成金等、貴重な浄財を主な財源として、余市町内で活動するボランティアグループや福祉団体に対し助成を行い、活動の支援を行うことにより地域福祉の推進を図っています。令和9年度助成団体を募集いたしますので、次の応募要領をご参照のうえ申請して下さい。

応募要領 (概要)

対象団体	- 余市町内で1年以上継続した活動実績のあるボランティア団体等 - 構成人員が5名以上で代表者や会計責任者を定めていること - 法人格を有する団体でないこと（NPO法人は除く） - 宗教、政治、営利活動を目的とする団体でないこと
対象事業	高齢者、障害者、児童等の福祉の向上を目的とした自主的・積極的な活動に資する事業
助成金額	1団体につき事業費の3分の2以内で上限額3万円
申請方法	申請書に必要な書類を添付して、11月30日(月)までに提出して下さい。 ※応募要領・申請書の様式は、本会ホームページからダウンロードできます。 http://yoichi-shakyo.or.jp/

提出先・問合せ先 余市町社会福祉協議会 〒046-0011 余市町入舟町400番地 ☎22-3156



デザイン!

事務用品!

印刷以外もおまかせ!

株式会社 **おおはし**

〒046-0004余市郡余市町大川町14丁目14番地
TEL 0135-23-4591・FAX 0135-22-3600

E-mail : oo84@cocoa.ocn.ne.jp

今年からLINEによるWEB応募も受け付けします

2026 ふれあいフォトコンテスト 作品募集!

【応募締切】10/30(金)
※当日までに必着

✦ テーマ / 「えがお」

✦ 被写体 / 家族、子供、高齢者 ※被写体となっている人に必ず応募の承諾を得て下さい。

✦ 作品規格 / 応募者本人が撮影（過去1年以内）した未発表の作品。

撮影画像の加工・合成等の修正した写真は不可。

トリミングは可。写真に日付が入らない様にして下さい。

【プリント応募の場合】カラープリントでサイズは2L判(127×178mm)に限る。

【WEB応募の場合】3:4比率に限る。

✦ 応募方法 / 【プリント応募の場合】応募作品1点ごとに「応募用紙」を記入のうえ、写真に貼付けずに余市社協まで郵送又は持参して下さい。

【WEB応募の場合】よいち社協公式LINEのトーク画面にて、氏名・タイトルと応募作品をメッセージ送信して下さい。

後日、内容確認後に入力用URLを送りますので、必要な情報を入力送信して下さい。

※プリント・WEB合わせて1人2作品まで応募可。

✦ 応募資格 / 余市町在住又は在勤の18歳以上の方（プロの方はご遠慮ください）

✦ 応募先 / 〒046-0011 余市町入舟町400番地 余市町社会福祉協議会内
「ふれあいフォトコンテスト」係 ☎22-3156

✦ 入賞 / 【最優秀賞】1名様：1万円商品券・記念品

【優秀賞】2名様：5千円商品券・記念品

【審査員特別賞】2名様：3千円商品券・記念品

✦ 入選発表 / 結果発表は1月に発行する社協だよりに掲載予定。

※詳細については、町内公共施設に備え付けのチラシをご覧ください。

本会ホームページからもダウンロードできます。<http://yoichi-shakyo.or.jp/>

【主催】社会福祉法人余市町社会福祉協議会 【共催】子育てサポートセンター

ご寄付いただき
ありがとうございました

令和8年7月～9月

- ニッカウキスキー株式会社 北海道工場 様
- ニッカディステイラーサービス株式会社 様
- (社会貢献活動の一環 /
- ニッカ版エコマイレージ活動)
- 90,000 円

皆様のご寄付は福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。



よいち社協

LINE 公式アカウント
ができました

イベントや講座のご案内、社協からのお知らせを配信します。ぜひご登録ください。



LINEから
フォトコンテスト応募も
可能です!
友だち登録後メニュー
から詳細を確認のうえ
ご応募ください。